

平成30年8月31日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第257号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. 8月1日から収入保険の加入申請の事前受付が始まりました！
2. 有機 JAS 認証等取得等支援事業公募のお知らせ
3. 「平成30年度 未来につながる持続可能な農業推進コンクール」へご応募ください！
4. 「第3回食育活動表彰」の募集を開始しました！
5. 皆様の資材調達の見直しにお役立てください！～国内外における農業資材の供給状況調査結果～
6. 「J-クレジット制度」を活用してみませんか？
7. 「最新農業技術・品種2018」公開のお知らせ
8. アグリサーチャーニュース vol.1 を発行しました

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. 8月1日から収入保険の加入申請の事前受付が始まりました！】

平成31年1月から始まる収入保険の加入申請の事前受付が、8月1日（水）から始まりました。収入保険は、全ての農産物を対象に、自然災害はもちろん、価格の低下、災害で作付不能、けがや病気で収穫ができないなど、農業経営者の努力では避けられない収入減少を広く補償する保険です。農業共済組合等が説明会を開催したり、戸別に訪問して、加入申請をサポートしていますので、お近くの農業共済組合等にお問い合わせください。

◇農業共済組合等の相談窓口はこちら

<http://nosai-zenkokuren.or.jp/consultation.html>

◇「新・10分でわかる収入保険のポイント」はこちら

http://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/syu_kyosai.html

◇お問い合わせ先

農林水産省経営局保険課農業経営収入保険室

担当：松尾、寺尾

TEL：03-6744-7147

【2. 有機 JAS 認証等取得等支援事業公募のお知らせ】

農畜産物・加工食品の輸出を予定している農業者を対象に、有機 JAS 認証及び GLOBALG.A.P. 認証の取得等の取組を支援する事業の公募を行っています。

認証審査や輸出向け商談の費用等が支援の対象となり、農畜産物・加工食品について、輸出関連事業者との取引実績がある、又は供給を求められている農業者が応募できます。

◇公募期間：平成30年8月3日（金）～平成30年10月1日（月）まで

◇詳しくはこちら

http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisan/180803_1.html

◇お問い合わせ先

農林水産省生産局農業環境対策課

有機JAS認証取得等支援関係 TEL：03-6744-2114

GLOBALG.A.P.認証取得支援関係 TEL：03-6744-7188

【3. 「平成30年度 未来につながる持続可能な農業推進コンクール」へご応募ください！】

農林水産省は、農業の自然循環機能を生かし、農業生産に由来する環境への負荷を低減する取組である、有機農業をはじめとした環境保全型農業を推進するほか、食品安全、環境保全、労働安全、人権保護、農場経営管理等の持続可能性を確保するための一連の取組であるGAPを推進しています。この一環として、持続可能な農業の確立を目指し意欲的に経営や技術の改善等に取り組んでいる農業者等を表彰する「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」を実施します。

「GAP」や「有機農業・環境保全型農業」に取り組む皆様のご応募をお待ちしております。

◇応募期限：平成30年9月20日（木）

◇応募方法など詳しくはこちら

http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/jizoku_konkuru.html

◇お問い合わせ先

農林水産省生産局農業環境対策課

GAP部門 TEL：03-6744-7188

有機農業・環境保全型農業部門 TEL：03-6744-2114

【4. 「第3回食育活動表彰」の募集を開始しました！】

農林水産省では、ボランティア活動、教育活動又は農林漁業、食育製造・販売等その他の事業活動を通じて食育を推進する優れた取組を募集しています。

例えば、農業体験を通じた食育活動に取り組んでいる農業者の方、協同組合や集落営農などのグループでの応募もできます。

たくさんの御応募をお待ちしております。

◇募集締切

ボランティア部門：平成30年10月31日（水）必着

教育関係者・事業者部門（※農業者の方はこちら）：平成30年11月9日（金）必着

◇詳しくはこちら

<http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/hyousyo/161102.html>

◇お問い合わせ先

農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課

担当：佐竹、島田

TEL：03-6744-1971

【5. 皆様の資材調達の見直しにお役立てください！～国内外における農業資材の供給状況調査結果～】

農林水産省は、農業競争力強化支援法に基づき、国内外の農業資材価格の状況について調査を行いました。その結果をお知らせします。

（1）国内調査

肥料や農薬等について、担い手が日頃利用している資材販売店等を対象に、販売価格等について調査したところ、各調査銘柄において、販売価格に大きな幅が見られました。

（2）海外調査

水稻栽培が行われているアメリカ、イタリア及び韓国の農業資材価格を調査したところ、各国ともに我が国と比較して総じて安い傾向が見られました。ただし、アメリカとイタリアにおいては、農業者の生産条件や農業資材を取り巻く状況も大きく異なることにご留意ください。

農林水産省は、この結果をふまえ、良質かつ低廉な農業資材の供給を実現するための施策について検討してまいります。皆様におかれましては、これまでの資材調達の点検や今後の調達方法の検討にご活用いただけますと幸いです。

◇調査結果の詳細はこちら

http://www.maff.go.jp/j/kanbo/nougyo_kyousou_ryoku/sienhou/index.html

◇お問い合わせ先

農林水産省生産局技術普及課

担当：金子、渡辺

TEL：03-6744-2182

【6. 「J-クレジット制度」を活用してみませんか？】

「J-クレジット制度」は、省エネ機器や再生可能エネルギーの導入などにより、CO2などの温室効果ガス排出量を削減した場合、国が削減量をクレジットとして認証する制度です。

認証されたクレジットは、排出削減目標の達成などに活用したい企業に売却することで、投資費用の回収やさらなる省エネ投資に活用することもできます。

農業分野でも活用が進んでいます。皆様に「J-クレジット制度」を知っていただき、活用をご検討いただければ幸いです。

※制度の活用には要件がございますので、ご不明な点は以下お問い合わせ先にご相談ください。

◇J-クレジット制度の詳細はこちら

<https://japancredit.go.jp/>

◇農林水産省のJ-クレジットWebページ（農業分野の取組事例も掲載）

http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/s_j-credit/index.html

◇お問い合わせ先

・J-クレジット制度全般に関して

みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第2部 J-クレジット制度事務局

TEL：03-5281-7588

・農林水産省窓口

農林水産省大臣官房政策課環境政策室

担当：早川、鉢嶺

TEL：03-6744-2016

【7. 「最新農業技術・品種2018」公開のお知らせ】

農林水産省では、全国の研究機関等で開発された技術・品種のうち、現場への導入が期待される優れたものを「最新農業技術・品種」として、毎年広く紹介しています。

この度、緑茶用新品種「せいめい」など、新たに23の技術・品種を「最新農業技術・品種2018」として公表しました。

農業生産者の皆様や、農業指導者の皆様におかれましては、「最新農業技術・品種2018」に掲載している技術や品種を是非、農業生産現場でご活用ください。

◇詳しくはこちら

http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/new_tech_cultivar/2018.html

◇お問い合わせ先

大臣官房政策課技術政策室

担当：高橋、田村

TEL：03-6744-0415

FAX：03-6744-0204

【8. アグリサーチャーニュースvol.1を発行しました】

アグリサーチャーは、農業に関する研究成果をスマートフォンからでも手軽に検索できるサイトです。昨年4月の公開以降、毎月7千件を超えるアクセスをいただいています。

この度、アグリサーチャーに掲載している研究成果や研究者を紹介する「アグリサーチャーニュースvol.1」を発行しましたので、お知らせいたします。ぜひご覧ください。

◇「アグリサーチャーニュースvol.1」はこちら

<http://www.affrc.maff.go.jp/agresearcher/news/index.htm>

◇アグリサーチャーはこちら

<https://mieruka.dc.affrc.go.jp/>

・「イベント」「動画」情報もご覧頂けるようになりました。

・ユーザー登録はこちらから

<https://mieruka.dc.affrc.go.jp/user/add>

◇お問い合わせ先

農林水産技術会議事務局研究企画課情報調査班

担当：佐藤、中村

TEL：03-3501-9886

◆◆◆編集後記◆◆◆

今日は野菜(831)の日。そして「宿題の日」。学べる喜びに気付いてもらう日だそうです。私は、知識を得ることは楽しいものだと、大人になってから気がつきました。「少年老いや早く学成り難し」とは言いますが、勉強を始めるのに遅すぎることはないはず、と思いたいです。皆様のお役に立てるよう、日々勉強です。(兼田)

経営局公式facebookページ「農水省・農業経営者net」

→ <http://www.facebook.com/nogyokeiei>

■ ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html>

■ 「新たな農業経営指標」を活用しましょう！

(3つのステップで経営改善！)(農林水産省HP)

→ <http://www.maff.go.jp/j/ninaite/shihyo.html>

■ 地域の人と農地の問題を解決しませんか？(パンフレット)

→ http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/pdf/hito_nouchi_booklet.pdf

「農地中間管理機構ホットライン」

電話 03-6744-2151 (受付時間 平日9時30分～17時00分)

E-mail kikou@maff.go.jp



- 電子出版：農業担い手メールマガジン
- 発行日：毎月1回発行
- 発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：吉田、金夢（かねた）、兼田

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ http://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

